

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年2月20日

公表: 令和5年3月25日

事業所名 放課後等デイサービス NEOキャリア

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		
	2	職員の配置数は適切である	4	1	業務シフトの工夫や業務分掌により、安全・安心な業務遂行に心がけています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		令和4年4月1日付開所の事業所にて、今回からホームページにて適切に公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0		第三者評価にて、適切な評価結果となるよう、日々の業務に注力してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	法人主催の定期研修を受講しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		心理職によるアセスメントを積極的に行っていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		保護者の方の理解のもと、WISC等のアセスメントを実施し、更に充実させていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1	事業所内でイベント会議を定期的に行い、工夫をこらした成長支援を行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	TEENSプログラムを活用し、個別や集団など状況や能力に合わせて実施するように努めております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		支援終了後の業務を効率的に行い、更に振り返りの時間を持つことに努めてまいります。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	保護者の要望に応じて学校側とのケース会議を行うように努めている。また、学校からの連絡帳を定期的に確認し、学校における生活の様子の把握と指定事業所からの連絡ツールとしても活用するよう努めています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	保護者から情報提供を受けて、かかりつけ医などに迅速に連絡できる態勢を整備しています。	高度な医療的配慮が必要な場合、医療機関からの情報提供書などを求めてまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0		小学校の高学年の利用者が多数の在籍のため、該当者が不在です。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0		今後必要な場合に情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	0		自治区主催の「ハロウィーン・ウォーク」に参加し、利用者の社会活動スキルを増幅する一助としました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0		機会を得られるよう、情報を積極的に取得します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0		

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2		今後は、にじいろアカデミー公式LINE投稿のみではなく保護者向けにSSTなどの紹介を行っていくようにしてまいります。
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	地域のイベントへの出店やフードパントリー活動などを行い、地域参画する中で、児童の成長を促す機会を得ています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1		各種マニュアルについて周知し、緊急時において職員が同一行動を取ることができるようにします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	法廷訓令を適切に実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	虐待防止委員会及び身体的拘束適正化検討委員会を設置して研修を受講しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		身体拘束の基準(切迫性・非代替性・一時性)を明確にするよう、身体拘束適正化検討委員会からの情報を元にスタッフ間で認識し、実施した際は振り返りと記録の記載を行ってまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		